ELPA教育オンラインセミナー2021

「社会に活きる日本語・国語能力の育成」

2021年　9月11日

NPO法人　英語運用能力評価協会

本日の講師

【講師】

吉田和夫

（ 教育デザイン研究所代表理事、日本大学文理学部講師、ELPAアドバイザー）

石川陽子（株式会社 エルロン代表取締役社長）

【コーディネーター】

岡田健志（株式会社 増進堂・受験研究社主任研究員、ELPAアドバイザー）

プログラム

- 14:00 ~ 14:10 趣旨説明(ELPA)
- 14:10 ~ 14:50 コミュニケーションとしての日本語・国語／質疑応答（吉田和夫）
- 14:50 ~ 15:10　学校・職場でのやさしい日本語（石川陽子）
- 15:10～15:50 日本語・国語リテラシーを語る／
  参加のみなさんとの質疑応答（吉田和夫×石川陽子×岡田健志）
- 15:50ー16:00　アンケートとまとめ（ELPA）

- (終了後、講師との懇親も可能)

お願い

- 本日のセミナーの録画・録音はご遠慮下さい。
- 講師への質問はQ&Aへお願いします。
- 意見等は参加者全員が見える設定でチャットへお願いします。

趣旨説明
ELPAのミッション

- ELPA（英語運用能力評価協会）とは英語運用能力評価協会（ELPA）は、「わが国の学校における英語教育の成果を客観的に調査・評価するテストを実施し、実践的で効率的な学習指導の提言を行う」ため、2003年４月15日に東京都知事の認証を得て設立された特定非営利活動法人（NPO）です。
- 言語能力における測定・評価の研究者、英語教育の研究者、教育現場の先生方および出版社、教育関連企業などが参加した協同作業により、第三者機関として英語教育における公正なテストと評価を提供し、日本の英語教育の現場に対して新しい指導法や学習方法の提言を行っていきます。
- 私たちが、現在行っている具体的な活動は、生徒・学生の英語運用能力を評価するテストを開発・実施し、評価結果とそれにもとづく分析結果を学校や自治体、先生、研究者にフィードバックすることであり、学校教育現場における日常的な学習指導の支援と、わが国の英語教育の健全な発展向上に寄与することを目的としています。

ELPAの事業

- 英語運用能力評価テスト（ACEテスト、BACEテスト、JUMPテスト、大学プレイスメントテスト、新４技能テスト）の開発と実施・運営
- 日本の英語学習者に向けた新しい評価テストの開発
- 英語運用能力に関する調査・研究
- 英語教育に関する独自のデータをもとにした調査・研究・コンサルティング
- 実践的ですぐれた教材モデルを現場の教師や研究者、出版・教材会社などから広範囲に募り教材化し、共有・供給するシステムをつくる。

英語教育に関する独自のデータをもとにした調査・研究・コンサルティング

- 秋田大学での英語プレイスメントテスト／英語プレイスメントテストa
https://elpa.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/elpavision_06.pdf

- 日本大学文理学部　英語習熟度テストにみられる大学1年生の英語力の推移
https://www.chs.nihon-u.ac.jp/institute/human/kiyou/92/8.pdf

- 京都女子　プレースメントテストによる習熟度別クラス編成に関する報告書
http://repo.kyoto-wu.ac.jp/dspace/bitstream/11173/1500/1/0040_062_003.pdf

- 富山県立大学工学部１年次生の英語実力試験結果に関する分析
- 実践女子大学人間社会学部　大学生を対象にした「日本語力テスト」の分析

実践的ですぐれた教材モデルを現場の教師や研究者、出版・教材会社などから広範囲に募り教材化し、共有・供給するシステムをつくる。

- ハイステイクス・テスト（資格試験、入学試験、卒業認定試験等）ではなく、日常の評価として使えるツールの供給
- 普段使いのテスト・評価ツール・教材を安価で提供

英語プレイスメントテスト（大学入学時クラス分けテスト）PBT／CBT同価格

英語プレイスメントテスト	（大学入学時標準英語範囲｜英検 3級～英検 2級｜TOEIC 300点台～700点程度）880円
英語プレイスメントテストCore	（大学入学時／基礎英語学習者全般｜英検 4級～英検 準2級）660円
英語プレイスメントテストa	（大学入学時標準英語範囲｜英検 準1級｜TOEIC ～800点程度）1,100円
英語プレイスメントテストAdvanced	（大学入学時標準英語範囲｜英検 準1級｜TOEIC ～800点程度）1,320円
英語プレイスメントテストEX	（高校既習事項から実践英語範囲まで｜英検 3級～英検 2級｜TOEIC 300点台～700点程度）825円

ELPAにおける日本語力調査

- 英語力と日本語能力の関係
- 母国語（日本語）の基礎能力調査
- リーディング力（読解力）、リスニング力（聴解力）における母国語の影響

日本語力と英語力の調査

- 同じ大学などで英語テストと日本語力調査を実施
- ※毎年5,000名以上。多い時は20,000名。

- 10年間、10万人以上の調査、言語能力として相関関係

- 特に基礎能力に強い相関性
（漢字・語彙・表現表記・読解）

「日本語能力基礎調査」

- 2008年から実施　価格：440円、572円（読解付）
- 小中高既習～社会人レベルの日本語運用能力調査。生徒・学生に必要な国語力をはかり、社会人としての基礎をつくります。
- 日々の学生生活に欠かせない日本語の知識と運用力に関するデータを提供いたします。教育効果を高めるプレイスメント調査として、また、学生の日本語に対する意識を高める手段として利用出来ます。

日本語テキストのリーディング

- 2018年1月から日本語で書かれた文章・テキストの理解力を測るテストの開発。

- 国語、英語の言語教科だけでなく、数学・理科・社会・情報など日本語で書かれたテキスト・図表・情報・論理文を読み取る力を測る。

日本語リーディングテラシーテスト

- 2020年3月　日本語リーディングリテラシーテスト

「従来型の読解力」にとどまらず、「新・読解力」を測定評価するテスト。

●従来型読解力：文学的文章や説明的文章などの連続型テキストを読み、その内容＝情報を取り出す力

●新・読解力：PISA型読解力、具体的には上記連続型テキストだけでなく「図・グラフ・表などの非連続型テキスト」を含む資料の

❶「テキストに書かれた情報を取り出せる」だけではなく、

❷「理解・評価（解釈・熟考）ができる」

❸「テキストを利用したり、テキストに基づいて自分の意見を論じたりするなどの活用ができる」能力

日本語リーディングリテラシーテスト問題概要
テストの構成

【知識】14問【情報】6問
【データ読取】8問【論理】9問
【文脈】5問【内容把握】8問
50問・50分

◆仕様：CBT及びPBT（マークシート）による多肢選択問題

◆文章出題レベル：高校国語レベル

◆価格：682円

日本語リーディングリテラシーテスト問題構成

【知識】「字句の意味を理解する」
【情報】「情報を探し出す」
【データ読取】「質と信ぴょう性を評価する」
【論理】「矛盾を見つけ対処する」
【文脈】「統合し、推論を創出する」
【内容把握】「内容と形式について熟考する」

※上記内容をCBT利用を念頭に問題作成

新しい読解力

- 1　「情報を探し出す」
- 2　「字句の意味を理解する」
- 3　「統合し、推論を創出する」
- 4　「内容と形式について熟考する」
- 5　「質と信ぴょう性を評価する」
- 6　「矛盾を見つけ対処する」

- 新しい読解力（読解力と情報活用能力の融合・ハイブリッド型能力）

分野

1：知識
日本語で書かれた一般的な文章を読み取る際に必要な言葉の意味「語意」と言葉の仕組み「文法」の知識を測定します。

2：情報
テキストに記述されている情報を読み取り、理解することと、その情報を判断・活用する能力を測定します。

3：データ読取
細部を見落とさず図や表の情報を正しく読み取る力、また設問に答えるのに必要な情報と不必要な情報とを見分ける力を測定します。

4：論理
文章を読んで論理的構造を把握し集合の包含関係を正しく理解する力、また必要に応じて論理演算を行う力を測定します。

5：文脈
本文に明記された「文と文のつながり」（＝論理）の理解度と共に、そこから解釈・類推して趣旨を抽象する能力を測定します。

6：内容把握
日本語で書かれた一般的な文章を読み取る際に必要な語い力、また筆者が本文で示した論理展開や趣旨に対する理解度を測定します。

提示された情報を読み解く

【問題 11】
下のようにキャンプ場の比較サイトで検索しました。この中のキャンプ場に遊びに行こうと思います。

問い１
かえでキャンプ場に６人で行くと、１日の料金はいくらになるでしょうか。

①2000 円　②3000 円　③4000 円　④6000 円

問い２
2 人でキャンプ場を利用します。自然は好きなのですが、どうしてもコンピューターのため電源が使いたいと言っています。最も安く泊まるには１日いくらでしょうか。

①　2000 円　②　2400 円　③　3200 円　④　9600 円

問い３
犬をつれて２泊のキャンプに行きたい４人家族がいます。キャンプ場の料金は、総額で 8000 円以内で、バーベキューもできるキャンプ場はどこでしょうか。

①　あんず　②　かえで　③　みかん　④　ふじさん

キャンプ場名	料金	テントの最大宿泊人数	施設	備考
あんず	2000	４	B	
かえで	2400	５	B, P	ペット不可
みかん	9600	７	K, E, H	
ふじさん	3200	６	E. H	花火不可

※料金はテント１張１泊あたり
※施設のＢはバーベキュー場、Ｅは電気のコンセント、Ｈはシャワー、Ｐは公園

字句の意味を考えて解く

２）新時代に求められる教育とは
【新時代の教育の方向性】 上記のように AI 等の技術革新が進んでいく新たな時代においては、人間ならではの強み、すなわち、高い志をもちつつ、技術革新と価値
ソウゾウ①の源となる飛躍的な知の発見・ソウゾウ①など新たな社会をケンイン②する能力が求められる。また、そのような能力の前提として、文章の意味を正確に理解する読解力、計算力や数学的思考力などのキバン③的な学力の確実なシュウトク④も必要である。そのためには、 ＜1＞ 膨大な情報から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者とキョウドウ⑤しながら新たな価値をソウゾウ①できる資質・能力の育成 ＜2＞ 1 を前提として、これからの時代を生きていく上でキバン③となる言語能力や情報活用能力、AI 活用の前提となる数学的思考力をはじめとした資質・能力の育成につながる教育が必要不可欠である。
新時代の学びを支える先端技術活用推進方策 （最終まとめ）
令和元年６月２５日 文部科学省 より

①から⑤にはいる語いを文章の意味を考えて選びましょう。

① 想像・創造
② 牽引・検印
③ 基板・基盤
④ 修得・習得
⑤ 協同・協働

情報文を統合する

【情報問題　1】 次の情報文をよく理解して、あとの問に答えよ。

民法改正　成年年齢の引き下げ　～若者が生き生きと活躍する社会へ～

2022 年 4 月 1 日から、 成年年齢は 18 歳になります。

　2018 年(平成 30 年)6 月に、民法の定める成年年齢を 18 歳に引き下げること等を内容とする「民法の一部を改正する法律」が成立しました。 改正法は、2022 年 4 月 1 日から施行されます。民法が定める成年年齢には、①一人で有効な契約をすることができる年齢という意味と、②父母の親権に服さなくなる年齢という意味があります。未成年者が契約を締結するには父母の同意が必要であり、同意なくして締結した契約は、後から取り消すことができます。また、父母は、未成年者の監護及び教育をする義務を負います。

　民法が定める成年年齢を 18 歳に引き下げると、18 歳に達した者は、一人で有効な契約をすることができ、また、父母の親権に服さなくなることとなります。

また、改正法では、女性の婚姻開始年齢(結婚することができるようになる年齢)についても見直しをしています。婚姻開始年齢は現在、男性 18 歳、女 性 16 歳とされていますが、女性の婚姻開始年齢を 18 歳に引き上げ、男女とも 18 歳にならなければ結婚することができないこととしています。

法律の要点

1 成年年齢の引下げ（民法第４条）

①一人で有効な契約をすることができる年齢
②親権に服することながなくなる年齢

➡ いずれも 20 歳から 18 歳に引き下げ
「成年」と規定する他の法律も 18 歳に変更

2 女性の婚姻開始年齢の引上げ（民法第 731 条）

（現行法）男性 18 歳　女性 16 歳

➡ 女性の婚姻開始年齢を 18 歳に引き上げ
婚姻開始年齢は男女とも 18 歳に統一

3 施行までの周知期間

若者のみならず、親権者等の国民全体に影響
消費者被害の防止等の観点から、周知徹底が必要

➡ 2022 年４月１日から施行

法務省民事局参事官室 民法改正 成年年齢の引き下げ～若者がいきいきと活躍する社会へ～ パンフレットより抜粋
http://www.moj.go.jp/content/001300586.pdf

問1　現行の民法下で許されることとして、適当なものを①～④のうちから選びなさい。

① 18 歳の女性が 16 歳の男性と結婚すること
② 18 歳の男性が 16 歳の女性と結婚すること
③ 16 歳の男性が 18 歳の女性と結婚すること
④ 16 歳の女性が 16 歳の男性と結婚すること

問2　民法改正による成年年齢の引き下げとして、適当なものを①～④のうちから選びなさい。

① 18 歳になると、一人でも有効な契約をすることができる年齢という意味
② 18 歳になると、一人でしか有効な契約を取り消さなければならないという意味
③ 18 歳になると、親子関係がなくなる年齢という意味
④ 18 歳になると、父母は成年になった子どもの養育費を払わなくて良いという意味

問3　今回の民法改正はいつから施行になりますか。適当なものを①～④のうちから選びなさい。
① 平成 31 年 4 月 1 日
② 令和元年 4 月 1 日
③ 令和 2 年 4 月 1 日
④ 令和 4 年 4 月 1 日

日本語で書かれたテキスト「新・読解力」を測定評価するテスト

- 「日本語リーディングリテラシーテスト」は、現代社会において社会人、学生の皆様に求められるリーディングリテラシー、つまり「自らの目標を達成し、可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書か自らの知識とれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」（OECD・PISA調査における定義）を「知識・情報・データ読取・論理・文脈・内容把握」の6つの観点から測定評価し、その修得やスキルアップへの道筋を示すテストです。

PISA型読解力＝リーディングリテラシー

- 1.PISA型「読解力」の定義・特徴等
- PISA型「読解力」は，次のように定義されている。

自らの目標を達成し，自らの知識と可能性を発達させ，効果的に社会に参加するために，書かれたテキストを理解し，利用し，熟考する能力PISA型「読解力」では，義務教育終了段階にある生徒が，文章のような「連続型テキスト」及び図表のような「非連続型テキスト」を幅広く読み，これらを広く学校内外の様々な状況に関連付けて，組み立て，展開し，意味を理解することをどの程度行えるかについて，可能な限り客観的にみることをねらいとしている。このため，PISA型「読解力」の問題では，行為のプロセスとして，テキストの中の事実を切り取り，言語化・図式化する「情報の取り出し」だけではなく，書かれた情報から推論・比較して意味を理解する「テキストの解釈」，書かれた情報を自らの知識や経験に位置づけて理解・評価（批判・仮定）する「熟考・評価」の3つの観点を設定している。また，出題形式では，自由記述が約4割を占めている。

- なお，PISA調査の「読解力」とは，「Reading Literacy」の訳であるが，わが国の国語教育等で従来用いられてきた「読解」ないしは「読解力」という語の意味するところとは大きく異なるので，本プログラムでは単に「読解力」とはせずに，あえてPISA型「読解力」と表記することとした。
- 文部科学省　読解力向上プログラム　（2005年）
- https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/031/shiryo/05120201/007.htm

「読解力」とは，文章や資料から「情報を取り出す」ことに加えて，「解釈」「熟考・評価」「論述」することを含むもの

- テキストに書かれた「情報の取り出し」だけはなく，「理解・評価」（解釈・熟考）も含んでいること。
- テキストを単に「読む」だけではなく，テキストを利用したり，テキストに基づいて自分の意見を論じたりするなどの「活用」も含んでいること。
- テキストの「内容」だけではなく，構造・形式や表現法も，評価すべき対象となること。
- テキストには，文学的文章や説明的文章などの「連続型テキスト」だけでなく，図，グラフ，表などの「非連続型テキスト」を含んでいること。

知識と思考
外山　滋比古　(お茶の水女子大学名誉教授)

- 日本人は明治以来、英語の翻訳と格闘してきた。英単語にはつぎつぎ新しい訳語を生み出し、センテンスのレベルでも「英文解釈法」という素晴らしい方法を編み出し、大きな成果を挙げた。しかし、日本語にはパラグラフが存在しなかったため、「欧米の言語構造が、パラグラフ単位で意味を積み重ねている」ことを見落とし、これを軽視した。今もってわれわれが欧米文化の根本を理解しきれていないのは、ここに原因がある。一方、国語教育においても、教材は相変わらず文学作品が中心である。日本語をもっと科学的・論理的・思考的な言語に作り変えなくてはならない。そして、その「新しい日本語」を担うものとして、エッセイという表現形式が着目される。ここに、現在の閉塞状況を突破する糸口があると考える。
- 学士会アーカイブス　No.883(平成22年7月)号
- https://www.gakushikai.or.jp/magazine/archives/archives_883_2.html

なかなか本題に入らない、日本人の思考構造

- 日本人は、未だに、パラグラフを正しく理解していません。「二百字ぐらいで、ある種のまとまった考えを述べるもの」と、理解しています。その上、日本人には元々、議論を明晰に展開する習慣がありません。強いて三角形にすると、初めはちょろちょろで、何を言っているか分かりません。
- 例えば手紙も、初めは用件を言いません。「そろそろ桜の頃になりますが、お元気でいらっしゃいますか」。本当はそんなことは言いたくありませんが、初めから本題に入るのは大変失礼なので、初めに枕のような文句を振ります。なかなか本題に入らないまま、だらだらと様々なことを書いて、最後に、「実は、お金が借りたいのですが…」などという話になります。初めから、「お金を貸してくれますか」と言ったら、日本ではお金を貸してくれないのです。お金を借りに来たのに、「お宅のお庭は立派ですね」「お宅のお子さんも、よく出来るようじゃありませんか」など、お世辞を言って、相手を良い気持ちにしておいて、最後に、「さて、実は…」となります。
- 日常会話でもそうです。アメリカの青年と日本の女性が仲良くなったとします。アメリカの青年が、「ドライブに行きませんか」と言うと、日本の女性は、「まあ、嬉しい、素敵」と言います。「じゃあ、いつ行きましょうか」と言う時になると、「いや、その日はちょっと具合が…」「その日もちょっと。実は、母が今病気でして…」と言って、結局は断るのです。外国人は、「初め、『行く』って言ったのに、しゃべっているうちにどうして行かないことになるのか分からない。日本人の『イエス・ノー』は、曖昧で不可解である」と戸惑いますが、日本人としては、別にそんなに悪気があったわけではありません。

「国語」ではない「日本語」を創出する

- 私達は今、岐路に立たされています。今までのように、「外国語の単語、翻訳されたセンテンス」というレベルで判断したり考えたりしても、所詮は借り物です。「今までと同じやり方では、新しいことを考えついたり、自分の考え方を表現したり出来ない」と、反省しなければなりません。

- 私達が日本の言葉を「日本語」と呼び出したのは、今から四十年ほど前です。それまでは「国語」でした。今やそれが波及して、「国語」という言葉の影がだんだん薄くなりました。小学校や中学校では、依然として「国語」と呼んでいますが、いずれ「日本語」になると思います。

- 一つには、日本の言葉を勉強したい外国人が増えてきたからです。「国語」とは、自分の国の言葉のことですが、どこの国の言葉もその国の人には「国語」です。それを、日本の言葉だけ指して「国語」と称するのは不適切だ、と気づいたのです

「国語」を「日本語」と捉え直したのは、大きな変化でした。これによって、ある種の独立性を持ちました。

- しかし、「国語と日本語はどこが違うのか」についてはなおほとんど関心を持たず、無自覚なままです。国語審議会でも十分検討されず、「単語をどうするか」「文字をどうするか」ばかり問題にしています。

- 「国語」を「日本語」と捉え直したのは、大きな変化でした。これによって、ある種の独立性を持ちました。今までのように翻訳中心の言葉ではなく、一つの民族社会の独立の言語体系があるということを、「日本語」という名前によってはっきりさせたのです。

- 私達は、この流れをはっきり自覚し、日本の言葉を、「新しいことを発見したり主張したり、新しいものの考え方を表現したり、面白いことを言ったりすることの出来る言葉」にしていかなければなりません。

日本の15歳、デジタル読解力不足に3つの背景（日本経済新聞　2019年12月10日）

- 東京大の秋田喜代美教育学部長は「論理的な思考力の育成が重要で、全教科を通じて取り組むべきだ」と強調。上智大の奈須正裕教授（学校教育学）は、PISAの読解力は、国語教材の登場人物の心情の読み取りなどが中心の従来型読解力ではないと指摘。「もっと幅広く複合的な力が大事との理解を学校現場に広める必要がある」と述べた。

- 79カ国・地域の15歳（日本は高1）が対象のPISAは、読解力と数学的応用力、科学的応用力の3分野を測る。読解力で日本は15年に続いて順位とスコアを落とし、15位になった。文科省の説明や識者の見方を合わせると、原因は大きく3つほどありそうだ。

- 「PISA型読解力」の弱さだ。現代はネット空間を信頼性に差がある大量の情報が行き交う。その中で生活を営んでいくのに必要な情報を探し出したり、情報の質を吟味して判断し、自分の考えを発信したりする力を指す。
- しかし、今回の調査で日本は「情報を探し出す力」と「（情報を）評価し、熟考する力」を測る問題の成績が下がってしまった。

ＰＩＳＡの日本の順位と平均得点	
	読解力
2012年	4位(538)
15年	8位(516)
18年	15位(504)
(注)参加国・地域中の順位。カッコ内は平均得点	

【矢野　文部科学省大臣官房審議官（初中教育担当）　特別寄稿】

PISA調査2018とGIGAスクール構想

初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン）第373号（令和元年12月24日臨時号）
https://www.mext.go.jp/magazine/backnumber/1422844_00003.htm

- 読解力についていえば、前回までは、「読解力」の定義は、書かれたテキスト（本や新聞など出所や校正・校閲がしっかりした書きもの）の中から「情報を探し出す」「字句の意味を理解する」「統合し、推論を創出する」「内容と形式について熟考する。」等でありました。つまり「従来型」の範囲内での「読解力」を問うものだったといえるでしょう。
- 今回からは、オンライン上の様々なデジタルテキスト（ブログ、投稿文、宣伝サイト、メール文）など、文責が誰にあるのか、出所が定かであるのか、校正・校閲がしっかりなされているのかなどが一見明確ではない文書について、「質と信ぴょう性を評価したり」「矛盾を見つけ対処したりする」ことも求めており、問題自体もその７割がPC使用型調査のために開発された新規ものとなっています。つまり、前回までの「読解力」の調査からは大きく変化しているということです。
- OECDの責任者であるシュライヒャー局長も、現代社会においてデジタルの世界で求められる読解力に焦点を当てたこと、「フェイクニュース」が広がる世界での読解力がより重要な能力になっていることを明確に言及しており、今回のPISA調査は、これまでの「読解力」の範囲に加え「情報活用能力」をも求めていることは明らかだと思います。

言語活動でのICT利活用

5.「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方

【基本的な考え方】

✓ 学校教育の基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なもの
✓ これまでの実践とICTとを最適に組み合わせていく

＼Society5.0時代にふさわしい学校の実現／

- 学校教育の様々な課題を解決し、教育の質向上につなげる
- PDCAサイクルを意識し、効果検証・分析を適切に行う
- ICTを活用すること自体が目的化してしまわないよう留意

（1）学校教育の質の向上に向けたICTの活用

- ICTを主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、今までできなかった学習活動の実施や家庭など学校外での学びを充実する
- 特別な支援が必要な児童生徒へのきめ細かな支援や、個々の才能を伸ばす高度な学びの機会の提供など、児童生徒一人一人に寄り添った指導を行う

#端末の日常的な活用 #ICTは「文房具」
#ICTの活用と少人数学級を両輪としたきめ細かな指導

（2）ICTの活用に向けた教師の資質・能力の向上

- 教員養成・研修全体を通じ、教師が必要な資質・能力を身に付けられる環境を実現する
- 教員養成大学・学部は新たな時代に対応した教員養成モデルの構築や、不断の授業改善に取り組む教師のネットワークの中核としての役割を果たす

#ICT活用指導力の養成 #データリテラシーの向上
#指導ノウハウの収集・分析

（3）ICT環境整備の在り方

- GIGAスクール構想により配備される端末は、クラウドにアクセスし、各種サービスを活用することを前提
- 各学校段階（小・中・高）における1人1台端末環境の実現と、端末の家庭への持ち帰りが望まれる

#デジタル教科書・教材の普及促進
#教育データの利活用 #ICT人材の確保
#校務効率化

日本語リーディングリテラシーテスト

- 中学生から大学・社会人までの平均（2021年4月受験）

	知識	情報	データ読取	論理	文脈	内容把握	総合	受験者
	14	15	16	18	15	22	100	
中学生	8	9	9	10	8	13	56	420
高校1年生	8	8	10	9	8	13	55	350
高校2年生	9	10	9	12	8	14	62	650
高校3年生	9	9	10	10	9	14	62	365
大学生	9	7	8	10	8	11	53	120
一般社会人	10	11	10	9	8	13	61	25

コンピューターを利用したELPAのテストシステム Computer Based Testing（CBT）

- 「CBT（ELCA）」はコンピュータを利用して実施していただくテストです。大学入学時のクラス分けテスト（プレイスメントテスト）や定期テスト、検定・資格試験前の実力把握などにご利用いただけます。

※実際の画面と異なる場合があります。

国語から日本語、
リンガフランカとしての日本語

- リンガフランカとは母語が異なる人々がコミュニケーション手段としてつかう言葉であり、英語やスペイン語だけでなく、日本語も様々な言葉の母語話者につかわれている。
- 日本語教育はジンバブエやモンテネグロなどを含む過去最大の142の国・地域に広がっており（国際交流基金 2018年度調査）、多種多様な母語を持つ人々が日本語を学習している。日本国内には総人口の2%を超える290万人以上の外国出身者が住んでおり（出入国在留管理庁2019年末調査）、彼女彼らの多くが日本語をつかって働き暮らしている。
- 2065年には日本に住む外国出身者数が1000万人を越え、日本の全住民の12%に達するとの予測

『リンガフランカとしての日本語――多言語・多文化共生のために日本語教育を再考する』（明石書店）

ELPAのオンラインテスト問い合わせ

- オンラインテストへの問い合わせ
- 【セミナー・テスト・教材に関する　お問い合わせ】
- 特定非営利活動法人 英語運用能力評価協会
- 担当:橋本志保 elpa@english-assessment.org
- 〒 162-0806 東京都新宿区榎町 39-3 神楽坂法曹ビル501
- Tel. 03-3528-9891（平日9:00～17:00）